

ジェンダー視点から考える

防災

～避難所にジェンダーの視点を～

甲府市男女共同参画推進委員会は令和4年度と令和5年度の第8期において「ジェンダー視点からみた防災」をテーマに活動しました。

私たちが暮らす地域社会には、様々な人が生活しています。災害時に直面する困難は、男性、女性、高齢者、障がいのある方、妊産婦、乳幼児、外国人、性的少数者等、人によってその困難や、必要とするものに違いがあります。ジェンダーの視点は、災害などの緊急時には見落としがちですが、人権を守るために決しておろそかにしてはならない視点です。

※ ジェンダーとは男性・女性という生物学的性差に対し、社会的・文化的につくりあげられた性別のこと

もしもの時・・・あなたは大丈夫？

最近自然災害が世界中で頻繁に起きているけど、もしものために何かしている？

非常持ち出し袋は用意してあるよ。

中身は大丈夫？点検しているかな？賞味期限とか使用期限が決められているから新しい物と交換しないとね。

そうだね。いざと言うときに“役に立たない”では困るからね。

非常持ち出し袋の重さは、女性では10kg、男性では15 kgが目安らしいよ。重いと避難行動に支障がでるから、目安を基に自分にあった重さで準備するのがいいんだって。

そもそも防災について、みんなはどこで情報を集めているのかな？



自治会では防災訓練や避難訓練があるし、甲府市でも研修会を開催したり、ホームページから情報が集められるよ。



避難所の運営は、自治会や市、施設管理者が連携して行っているんだけど、避難所にはいろんな人が集まってくるから、様々な配慮が必要になっているんだよね。



避難所の運営は「男性だけ」だと、女性の悩みや困りごとに気づけない可能性もあるよね。もちろん「女性だけ」でも同じことが言えるね。性別のほかにも年齢、国籍、障害の有無など、それぞれの視点で考える事が大切なんだけど、それがなかなか難しいんだよね。



例えば生理用品などは、男性が配っていると受け取りにくかったりするから、女性が担当したほうがいいんだよね。



トイレは人目につきやすいところに設置したほうがいいよ。

え！人目につかないほうがいいんじゃないの？



女性や子どもに対する性暴力防止の為にトイレは人目につきやすい場所がいいんだよ。

なるほど。



授乳室もあると良いね。外から見えないように配慮されていれば、安心して使えるよね。



安全で安心して使えるようにすることが大切だね。



他にも、男性用・女性用の更衣室は防犯の為、場所を離して設置する、入浴時間を男女でずらすなど安全への配慮が必要だよ。



物干し場のエリアはどうなのかな？



人の目が気になって下着が干しづらかったりするので男性・女性でエリアを分けることや、盗難等の危険性もあったりするから、人の配置の工夫も大切になるね。



それに今は、男性・女性という分けだけでなく、マイノリティの人への配慮も必要となっているからね。



避難所の炊き出しなど、役割を性別のみで判断するのは、負担が特定の人に偏ってしまう危険性があるよね。みんなで話し合って役割分担を決めて行くことが大切ってことだね。



そうだね、できることは人それぞれだもんね。ところで、甲府市のハザードマップって見たことある？





これは洪水ハザードマップだね。ハザードマップはこのほかにも、土砂災害や地震ハザードマップもあるよ。
洪水ハザードマップのほかにも、電柱に想定される浸水深表示がしてあるよ。見たことあるかな。



あるよ。
水害避難の時は、長靴だと脱げたり、水が入ると歩きにくいので、スニーカーなどが良いとされているよね。



災害については、『自助』70%、『共助』20%、『公助』10%といわれていて、大きな災害ほど、『自助』『共助』が重要なんだよね。



自助は自分の力で自分自身と家族の命を守ること、共助は近所の人と互いに助け合って命や地域を守ること、公助は市役所や警察、消防、自衛隊などによる支援・復旧対策だよ。



そういえば、私は先日、甲府市の防災リーダー研修を受講して、防災リーダーになったんだよ。甲府市には「女性のための防災リーダー研修」もあるんだって。
皆さんもぜひ防災リーダーになってジェンダー視点で防災を考えてみよう。